

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 258

■ 第 1 回 開発企業向け固有技術探索活動説明会（会員限定）

会員企業の皆様が次世代自動車に対応するためには、自社の「固有技術」を認識、活用し、レベルアップを図ることによって、次世代自動車に搭載される部品を開発・設計、製造・販売していくことが必要です。

そのため、次世代自動車センター浜松では、毎年、会員企業様が持つ「固有技術」の見える化の手法として「固有技術探索チャート」を作成し活用するための「開発企業向け固有技術探索基礎講座」を開催しています。

今回、今年度の基礎講座を開催するにあたり、当センターの望月センター長を講師として、固有技術探索活動の取組み、固有技術探索チャートの概要、基礎講座の進め方などについての説明会を Web 形式で開催しました。

■ 日 時 : 令和 6 年 9 月 5 日 (木) 13 時 30 分～14 時 40 分

■ 場 所 : Web 形式

■ 参加者 : 15 社 / 37 名

2024年度 固有技術探索活動基礎講座

説明会  
「開発企業向け固有技術探索活動」

令和 6 年 9 月 5 日 (木)

(公財) 浜松地域イノベーション推進機構  
次世代自動車センター浜松



12 開発企業向け固有技術探索活動の特徴 《固有技術の見える化の考え方》

「固有技術」の見える化の考え方

(1) 生産している製品に注目する。(S社の「A製品」と「B製品」)  
・「ひとつの企業で一見異なる2つの製品を生産できる理由は何が？」  
(A製品) (B製品)

(2) それぞれの製品に含まれる固有技術を洗い出す。  
・それぞれの製品には、必ずその企業の固有技術が含まれている。

(3) 一見異なる製品に含まれる共通技術に注目する。  
・それぞれの製品に含まれる共通の固有技術は、企業が持つ「強みの技術」であり、それが「固有技術」である。

17 「チャート情報調査票」による「保有技術」と「保有技術」の棚卸し

開発企業向け固有技術探索チャート作成の流れ

1.固有技術探索「チャート情報調査票」を用いた調査

2.固有技術探索チャートの作成

43 開発企業向け固有技術探索活動の心構え 《チャート作成の目的の明確化》

(3) 探索チャートを作成する目的の明確化

「作成する目的」＝「探索チャートの活用方法」

(1) 試作部品を製作する際の工程設計のための活用  
(2) 会社経営のための技術資料としての活用  
(3) 暗黙知となっている技術の顕在化  
(4) ノウハウが蓄積している部門の見える化

50 開発企業向け固有技術探索活動の進め方 《全体の流れ》

イベント	内容	目的
固有技術探索活動 説明会 (木日)	活動の目的・概要説明	活動の理解・実施可否決定
・基礎講座募集案内 ・基礎講座受講事前準備 (代表製品2製品選出、工程調査)	期間: 2週間	
① 固有技術探索活動 基礎講座 (第1日目)	チャート作成説明・指導	自社の製品でチャート作成
・チャート情報調査票作成 (独自トリアル、事前提出) ・提出されたチャート情報調査票内容確認	期間: 2～3週間	秘密保持契約書の締結
② 固有技術探索活動 基礎講座 (第2日目)	・チャート作成方法の説明	チャート情報調査票から探索チャート作成
・講座内容を反映して固有技術探索チャート作成・提出 ・個別相談会内容を反映して固有技術探索チャート作成・提出	期間: 3～4週間 期間: 3～4週間	提出後、内容確認・添削後個別相談会
	「固有技術探索チャート」完成	
● その後、フォローアップとして棚卸し対象製品の「製造現場確認会」⇒ 技術マッチング活動支援		

### 【参加者の声】

- ・ 自社のノウハウを改めて、調査し、営業活動の強みになると思った。
- ・ 今回のセミナーを受けてチャートを実際に作ってみようと思った。
- ・ 保有技術の棚卸しなど考え方について大変参考になった。チャートに整理することで課題への気づきになることは有用だと思った。
- ・ 弊社は数年前に実施したが、その時よりも作成の考え方、目的が具体化されていて、改めて、考え方の参考になった。
- ・ 発想の転換、新しいモノ・コトへのチャレンジをするための手法として興味深かった。
- ・ 変化に対応していくには固有技術を応用していくことが重要だと感じた。
- ・ 固有技術を探し出すことが、技術の強みを探し出すことになることがわかった。
- ・ 自社の固有技術は重要であり、それを理解するためには自社製品の工程を細かく分解し、技術の棚卸をすることが重要だ。
- ・ 保有技術のリストアップまではできても、固有技術かどうか判断するのに経験や知見が必要で、重要なポイントだと思った。中小企業だけでなく、カーメーカーでも保有技術及び固有技術のリストアップは必要だと思った。
- ・ とても興味深い内容だった。活動も素晴らしいが、固有技術を探し出す手法が特に勉強になった。自部門の業務棚卸に似たよう手法が使えるのではないかと思った。
- ・ 次世代自動車センターの活動の根幹が理解できる内容だった。全体を通じて非常にわかりやすく説明いただいた。” 伴走支援” という活動方針に感銘を受けた。
- ・ 固有技術探索チャートは、決められた物差しで評価できる指標として大変参考になった。
- ・ 固有技術探索チャートを活用して自社の固有技術を把握するという内容は理解できた。
- ・ 講師の説明内容や話し方、進め方がわかりやすかった。
- ・ 資料内容が詳細かつ説明が丁寧で理解しやすかった。
- ・ 説明内容としては資料に準じて説明いただき、明確だった。